

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年2月16日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500117
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム もぜ
所在地	鹿児島県いちき串木野市春日町24番地 (電話) 0996-32-3033
自己評価作成日	平成29年12月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年2月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 明るい雰囲気の中、利用者が気さくに何でも相談できる環境を提供しています。
- 利用者が急変の際は、医療機関が近いので素早い対応ができる。
- 利用者へ季節を感じていただくため、飾りつけはその時々に変更するように心掛けています。
- スタッフのスキルアップを考え、毎月1回勉強会を開催しています。
- 子供がいるスタッフが働きやすい環境を整えている⇒子供同伴での仕事やレクなど。
- 産休を取り入れ、産後も働ける環境です。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは町内会に加入し、地域行事の清掃活動・夏祭り・敬老会・新年会に参加したり、ホーム行事の餅つき大会・あくまき作り等に住民の参加がある。近隣の小学校に出かけて児童との交流を継続している。公民館で転ばん体操を開催したり、住民との炊き出し訓練等、地域貢献に取り組んでいる。
- ・運営母体である医療機関と24時間医療連携体制が整っており、利用者・家族の医療面に安心となっている。
- ・利用者の行きたい場所やしたい事・食べたいものに対応する「わがままデイ」を設けて、個別ケアに積極的に取り組んでいる。
- ・職員のスキルアップのため、法人の関連施設への異動を行ったり研修会受講や資格取得を支援する等、ケアの向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内数箇所に掲示することで職員全員が周知できるように工夫している。また、定期的に職員全員に再確認している。	理念を事業所内の玄関やフロアなど目に付く所に掲示し、パンフレットにも掲載し周知を図っている。毎月の全体会で理念の確認を行い、年1回は理念を通してケアの振り返りを実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で催されている行事や公民館の行事に参加していただきます。逆に、施設行事には参加していただいています。	地域行事に参加したり、ホーム行事に住民の参加がある。ボランティア受け入れ等で地域と交流している。地域の要支援者へ公民館活動で講師として出向いたり、住民との炊き出し訓練など、地域貢献にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	担当者会議、家族会などで出た疑問や不安に対して専門的な意見を伝えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者家族、地域の方々の意見や要望を検討して実行に移している。</p>	<p>定期的に会議を開催し、行事予定や利用者の状況・職員の動向・ヒヤリハットなどを報告している。その後、情報交換が活発に行われ、意見の中からボランティア活動として地域の在宅支援サービスに取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>不明な点があれば、市町村担当者に連絡して教えをいただいている。また、市町村からの連絡事項は書面でいただき、それをファイリングしている</p>	<p>機会あるごとに窓口に出向き相談する等、市の担当者と連携を図っている。福祉課や健康増進課とも連携・協働し協力関係を築いている。生活保護担当者とは来訪時や出向いて報告や相談を行って協力関係を築いている。市の研修会に参加し情報交換等にも努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月1回身体拘束について話し合う機会を設けている。また、年に1,2回の勉強会を開催している。</p>	<p>身体拘束をしないケアについてマニュアルがある。年1回法人主催の勉強会やホームで月1回の全体会議で事例検討や資料を用いた勉強会をしている。言葉使いは職員間で注意し合ったり、管理者が面談している。玄関の施錠はせず、利用者が出ていく前に気付けるように目配りして、一緒に散歩等で気分転換を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に勉強会を開催している。また、毎月1回は虐待について話し合う機会を設けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員は定期的に研修へ参加している。また、研修内容を全職員に伝えるように努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご家族と話す機会を作り、不安や疑問点などを引き出せるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を玄関、各フロアに設置して、何でもご意見をもらえるような環境を整えている。</p>	<p>利用者には日々の会話から思いを把握している。家族からは運営推進会議や食事会を兼ねた家族会・面会時に要望等を聞いている。3カ月に1回発行している「もぜ便り」と個人のスナップ写真や現在の生活状況を手紙で報告し話し合っている。家族から晩酌の相談を受け、主治医に相談して対応する等、要望を反映できるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1回会議を設け、職員の意見や提案を取り入れ、運営の見直し、変更等行っている。</p>	<p>管理書は月1回の全体会議や日々の申し送り後のミニカンファレンスなどで提案や意見などを聞いている。必要時個人面談もしている。業務内容を変更するなど働きやすい環境を心掛けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に面談を行い、職員の想いを聞き、希望にできるだけ沿えるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月行われる施設内会議にて、勉強会を実施している。また、ベテラン職員が普段のケアの中で気付いたらその都度、若手への指導が行えている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設が開催される研修に参加させていただき、いろいろな意見を聞き入れ、サービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>寄り添うケアを念頭に置いて、その人の思いに気づけるよう心掛けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所契約の際、ご家族の要望、不安等を抽出できるように、心掛けている。初期の段階では、ある一定以上のスキルを持った職員が対応するようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族と計画作成担当者が密に連絡を取り合い、必要としているサービスを抽出して、計画に反映するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>余暇の時間では一緒にDVDを鑑賞したり、ソファで談笑するなど、共に過ごせるように心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間に制限を設けずに、いつでも来ていただいて良いことは伝えている。また、家族会、レクなど、ご家族と参加できる行事を計画するよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域での行事には出来るだけ多くの利用者を参加させることができるように努めている。	友人や家族の面会時にはお茶を出して対応し、フロアや居室で寛いでもらっている。外泊時やドライブで自宅周辺に行き馴染みの友人と話すなど、関係性が途切れない支援に努めている。地域行事への参加や買い物に同行したり、家族と墓参りや法事等で外出・外泊している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	余暇の時間では、ソファがある場所でテレビ鑑賞、談笑など一緒に過ごせる環境を作るよう心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人内での施設変更では、ご家族・本人と会う機会があるので、会話の中から思いを聞き入れるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いに気付いた段階で記録し、職員で共有できるように努めている。それについて検討することにより改善を図っている。	日々のコミュニケーションの中で笑顔の状況から把握したり、食事摂取状況中から思いや意向の把握に努め、申し送りで共有している。困難な場合は家族からの情報や繰り返される言動から本人中心の支援を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所が決まる前段階で利用者の状況を全職員で共有している。また、日々の暮らしの中で、本人が話したことも職員間で共有するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りの中で利用者個々の変化などを話し合い、職員間で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	医師、OTなど専門の意見を取り入れたり、アレンジしたり、個人に合った計画作成に努めている。	担当者会議で本人や家族の要望等を聞き、主治医・関係者からの助言を参考に検討し、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月に1回見直している。状況変化時にも見直して現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護・生活記録の題目で書式がある。それに日々の状態など記録している。情報交換は漏れがないように毎日2回、申し送りを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者御家族面会時には近況を話す機会を設けている。また、御家族の要望に気付けるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>公民館行事へ参加したり、逆に施設行事へ参加していただいたり、昔からの知り合いと出会う機会をできるだけ作っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>皮膚科、歯科など受診の際には本人や家族の希望を取り入れて病院を決定している。</p>	<p>本人・家族が希望する馴染みの医療機関を受診している。家族同伴の受診であるが職員の時もある。法人母体が医療機関で1ヶ月に1回の定期受診がある。24時間医療連携体制であるため緊急時や夜間対応も可能で適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の変化への気づきは、全職員で共有するように努めている。それに対して、看護職員へ相談し、受診できる流れになっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合、週2, 3回は面会に行くように心掛けている。その際、医師や看護師から情報を得よう努めている。また、勉強会などを通じて、他医療機関との交流を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	担当者会議や利用料金支払いの際に、今後の状況の変化について話をしている。また、その対応についても医師を交えて相談し、共有している。	契約時に重度化等の場合の事業所対応を説明し、家族等の意向を確認している。状況変化時にはその都度話し合いを重ねながら家族の意向を確認し、支援に取り組んでいる。看取り介護の事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な勉強会にて、知識を身に付けている。また、介護現場の中でベテラン職員から若手職員が技術を吸収できるように、ペアを組んでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を年2回実施している。その中で、公民館等へ協力要請を行い、いろいろな意見をいただいている。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施しており、1回は消防署立ち会いである。公民館長及び公民館主事の参加協力があり、法人内の職員も緊急通報装置に登録するなど、地域や法人の協力体制を築いている。緊急連絡網に地域住民や法人内の看護職員も明記している。炊き出し訓練を計画している。非常用の備蓄は水・缶詰・レトルト食品等を3日分確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>現場の中で利用者への対応についてお互いに注意できるような環境作りに努めている。</p>	<p>法人主催で年1回勉強会があり参加している。ホーム内でも資料を用いて勉強会を行い、全員が言葉遣いや対応について研修している。トイレ誘導時は肩をタッチング、トイレのカーテンの外からの声掛け、衣服を本人が選択しやすいように配慮する等、羞恥心への配慮や本人の気持ちを尊重した対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者との会話の中で要望等を聞き出せるよう努めている。また、それを全職員で共有し、実現できるよう努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者のタイミングで食事・就寝等行っている。起床に関しては声掛けを行うが、本人の希望に沿って起床していただいている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎朝の、整容チェックで利用者に喜んでいただいている。男性は髭剃り、女性は髪の設定など。また、出掛ける際には利用者の希望に沿う衣類を着用していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々の力を把握して、台拭きや食器の片付けなど行なってもらっている。また、一緒に食事をする事で、楽しい空間を作るように努めている。	献立は職員が嗜好を把握し作成している。利用者の個々の力量に応じて、じゃがいも皮剥きや下ごしらえ・食事・後片付けなど職員と一緒にしている。誕生会や七草粥などの行事食、全員で外出に出かけたり、手作りおやつや差し入れ、特設のそうめん流し等、食事を楽しむ工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量は毎日記録しており、個々の健康状態に注意している。食事や水分が進まない方には嗜好品で対応するなど工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは漏れがないように工夫している。また、個々の能力に応じて介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用して、個々の排泄パターンを把握できるようにしている。また、自尊心を傷つけないよう、できないところを少しお手伝いするよう心掛けている。	排泄チェック表で個々人の排泄パターンを把握し、見守りや誘導で日中は全員がトイレで排泄しており、入居時より失禁の頻度が減少した利用者もいる。夜間のみ、それぞれに応じた排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取に注意すると共に、ヨーグルト等も摂取していただき便秘解消に努めている。また、リハビリ、外出レクなど、運動できる機会を作っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	できるだけ利用者の希望に沿える時間帯で入浴していただいている。また、入浴の意欲がわくような声掛け等を工夫している。	基本的に週2回の入浴支援であるが、希望があれば毎日可能である。同性介助で身体能力に応じて1:1から1:2の介助である。入浴剤を使用し温泉気分を味わっている。入浴拒否時、時間帯の調整や声掛けの工夫等で入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態を把握した上で、本人の希望に応じてベッド臥床していただいている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容は表にして、全利用者確認できるようにしている。日々の変化は毎日の申し送りで共有できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>医師から了承を得て、焼酎を提供したり、生まれ育った土地へドライブへ行ったり、本人の希望に沿って支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外出レク、買い物レク、ドライブなど、定期的に行っている。利用者の希望に沿えるようなレクを検討し実行している。</p>	<p>日常的に散歩を実施している。年間計画に基づき花見や外食・ドライブ・買い物など、定期的に出かけている。ドライブは状況に応じて頻回に出かけている。定期的な医療機関への受診や地域行事に参加の支援をしている。誕生日のわがままデイには希望の場所に出かける支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物レクで所持していただき、職員付き添いで購入していただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望があれば、直接電話していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール壁には季節ごとに折り紙で作成したものを掲示している。また、蛍光灯をある程度外すことで、快適な明るさで過ごしていただいている。	ホールは採光もよく適温である。大型のテレビやソファが置いてあり、食後もゆっくり寛げる空間となっている。壁には行事時の写真や節分の手作りしたもの、利用者の塗り絵などの作品集が掲示してあり、季節感や生活感を取り入れ居心地よく過ごせる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにソファを配置することで同じ場所からテレビを楽しむことができるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物、御家族が持って来られたものなど、本人の希望を聞きながら居室に配置している。仏壇をいれている利用者の方もおられます。	居室はベット・整理ダンス・エアコンが設置され、寝具類は持ち込みである。掛け時計・ダンス・仏壇を置いたり、ぬいぐるみや人形・本人の作品・家族の写真等を飾っている。毎朝、仏壇にお茶を供え拝んでいる。本人が居心地よく過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な所に手すり等を設置して安全を確保している。また、新聞や雑誌など、手に届くところに配置することで、自由に楽しんでいただいている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない